

セクシュアル・ハラスメントに関する日本バプテスト連盟声明

セクシュアル・ハラスメントは人格そのものの侵害であり、その人の性を軽んじ傷つけることは、その魂を踏みにじることです。これは社会的にも深く認知されている犯罪です。またセクシュアル・ハラスメントは、特殊な人物が引き起こす例外的な事柄ではなく、社会的な性差別や不平等な関係性が起因となって起こる事柄であるため、組織的な対応が必要とされます。教会もまた、これまで性に関する問題を自らとかかわりのないものとしてきた歴史を見つめ直し、自ら罪を犯す危険を持っていることを自覚する必要があります。

また私たちは、連盟内においてもセクシュアル・ハラスメントによる被害が起きていたにもかかわらず、正面から受け止めることをせず、その傍らを通り過ぎ、結果として被害を黙殺してきました。その深刻さを十分に認識していなかった罪責を主の前に表明し、被害にあわれた方々に心より謝罪いたします。

この深刻な痛みからの解放の希望を私たちはキリストに見ます。主イエス・キリストは一人一人のいのちの尊厳を重んじ、暴力を放置せず、全ての人の隣人となることを教えられます。キリストに解放され、従う私たちは、人権を尊重し、そのための取り組みを実行します。

またキリストに従うあり方として、バプテスト教会を私たちは形成していますが、バプテストにとって、人権が侵害されそうになっている・されている人々の自由を確保することは基本的な主張です。

日本バプテスト連盟はセクシュアル・ハラスメントを容認せず、今後被害を生み出すことがないように、また起こってしまった被害については、被害者の痛みを放置したり、二次被害を起こしたりすることがないように、連盟として誠実に取り組むことを宣言します。

「行って、あなたも同じようにしなさい。」(「サマリア人のたとえ」ルカによる福音書10章37節より)

2005年11月17日
日本バプテスト連盟第51回定期総会